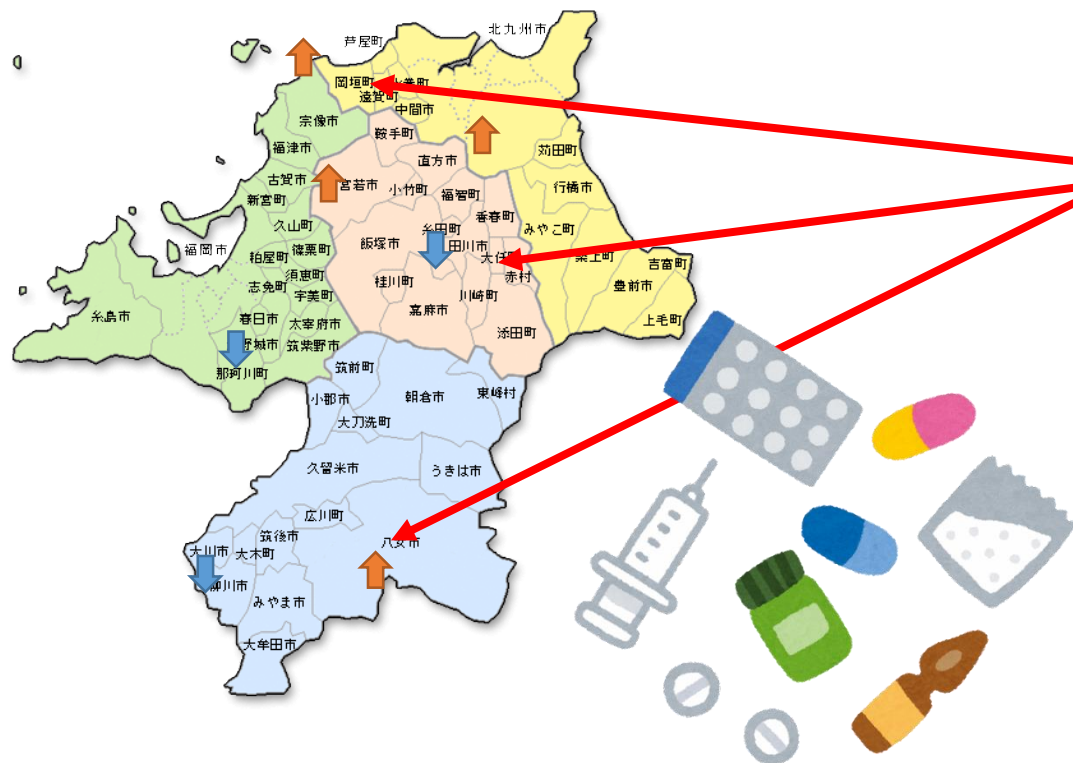


レセプト分析について

令和 4 年 9 月 薬務課監視係

令和4年度ジェネリック医薬品使用促進事業におけるレセプト分析について

- 令和3年度は、福岡県におけるジェネリック医薬品の促進策を講じるにあたって、ターゲットを明確化し、効果的なアプローチを実施する対象や課題を明らかにすることを目的として、処方元の医療機関及びジェネリック医薬品使用割合等の関係性におけるレセプトデータを分析を行った。
- 今般、よりターゲットを絞る観点から、医薬品成分別の使用割合について分析を行った。
- 別添に中間調査報告書、次項に考察・対応案について示す。



今後の効果的な促進の実施に先立ち、アプローチが必要な地域の特徴や課題を明らかにすべく、以下のレセプト分析を実施した。

- ・ 医薬品成分別の県全体の後発医薬品数量シェア等の算出
- ・ 医薬品成分別かつ二次医療圏別の後発医薬品数量シェア等の算出
- ・ 医薬品成分別かつ医療機関種別の後発医薬品数量シェア等の算出

分析の結果により示唆された課題について

- 全県的に、特定の薬剤の後発医薬品数量シェアが低く、県全体のジェネリック医薬品使用割合に大きな影響を及ぼしていたことが判明した。
- 後発医薬品使用割合80%目標を達成するにあたり、必要な切替数量の目安が判明した。

今後の対応について

- 依然として、後発医薬品の供給不安が継続しており、本レセプト分析結果をもって医療機関に対しアプローチを行うことは時期尚早と思われる。
- 最終報告書においては、各市町村ごとの医薬品成分別レセプト分析結果が示される予定であるため、それぞれの結果から、委員の皆様の御意見をいただき、施策を検討してまいりたい。